No	計画(案)該当箇所		意見の概要	市の考え方	案の修正
INO	基本計画	実施計画	ぶ光の似安	旧の考え力	条の修正
1	第3章 3-1 自転車の特性 (P. 6)		「災害時に機動的」との自転車の特性(本冊P6)に着目した災害時における自転車利用の具体策の提示と啓蒙活動の展開・自動車や公共交通の代替手段としての自転車利用の具体策(新型コロナウィルス渦中での鉄道・バス利用の代替手段としての利用を含む)・各地域の特性(道路事情等)に合わせた具体的な活用策(個別の公共駐輪場、シェアサイクル活用促進策等も含む)	災害時における自転車活用として、道路の被災状況の迅速な把握のため、本市土木事務所に自転車を配備し、防災訓練等でも活用しております。本内容については、参考資料に追記することとし、PRを図ります。コロナ禍において、シェアサイクルの利用回数やユーザー数が増えていることから、公共交通機関の補完サービスとしても活用されているものと推測されます。なお、災害時におけるシェアサイクルの利用については、利便性・安全性の両面から検討中であり、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	有
2	第5章 5-1-2 スポーツ・レクリ エーション	第7章 「楽」自転車の活用 と利用促進 施策2 自転車関連イベン トの開催・誘致 (P. 37)	千葉市自ら自転車利用推進のための行事を行うことを提案します。 自転車利用の推進には、千葉市の職員が市民と共に実際に自転 車を使うことで利用のメリット、デメリットを共に経験し、咀嚼していく ことで千葉市ならではの自転車利用計画が生まれてくると思いま す。 是非、開催するイベントの中に、千葉市と住民が外に出て、自転車 走行のメリットを体験共有できるものを開催し、今後の自転車利用 推進につなげていける体験を持っていただきたいと思います。	これまでの取組で、サイクリングの周遊ルートの設定において、本市職員と関連団体が連携し、ルート調査を行うなど、事業化にあたっては実体験を踏まえ検討を行った事例もあります。 今後もこのような事例を踏まえつつ、自転車利用を推進するような体験型のイベントの開催・誘致に努めて参り、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	無
3	(P. 15)	第7章 「守」交通安全の確保 保施策11 自転車安全利用の 促進 (P. 43)	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、多くのイベントが中止になった。今後予定されている事業やイベントなど場合によって、中止せざるを得ない。現地イベントだけではなく、オンラインを利用した自転車のルール・マナー講習、自転車保険加入の義務化についての情報発信などを取り入れることで効率化を図ることができるのではないだろうか。	多様な情報発信の方法の一つとして、オンラインも利用した自転車 安全利用講習会などを実施できるよう進めて参ります。 なお、P43に「自転車安全利用講習会等の実施」を記載します。実 施の際は、ご意見を参考とさせていただます。	無
4	第5章 5-1-3 都市交通と自転車 (シェアサイクルの 状況) (P. 17)	と利用促進 施策6 都市交通の利便性		現在千葉市では約330のシェアサイクルステーションが設置され、実利用者は17,000人/月を超えており、今後も増加の見通しです。ご指摘のように、劣化自転車の修理やバッテリー交換には人件費等の負担もかかっております。これに対し、運営事業者において充電の大一ションの拡充によるメンテナンス費用の軽減や、自転車への広告掲載、法人向けプランの創設などによる収入の増を目指すなど各種対応策をとっております。他国との比較については一概に言えませんが、千葉市としてもこの対応策へのフォローを行っているところであり、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	無

No	計画(案)該当箇所		意見の概要 市の考え方	+0*=+	案の修正
INO	基本計画	実施計画	思元の似安 	中の考え方	柔の修正
5		境の整備 施策7 連走行環境	とが、一種のモーダルシフトを促す契機になると考えます。今ある 道路の隅にブルーラインを引くだけでなく、特に美浜区に多い広す ぎる歩道を見直し、その一部を自転車専用道等に転用する等、従 来にない大胆な施策を期待します。結果として歩道上の自転車走	ご意見のとおり、自転車走行環境整備は、安全対策も目的の一つとして進めており、自転車ネットワーク計画「ちばチャリ・すいすいプラン」を定め、整備を進めております。整備の際は、各路線の状況に応じて、整備形態を決めて参ります。なお、歩道の見直し(縮小)は、埋設物等の関係もあり、多大な費用を要することから、現計画では、ネットワークの形成を優先し、大規模な工事を行わずにできる整備を進めております。今後は、道路改築のタイミングに合わせて歩道の見直し(縮小)が実施可能か費用対効果や必要性を踏まえた検討を行うことから、ご意見について、参考とさせていただきます。	無
6			自転車レーンの中長距離ルートネットワーク構築の迅速化を提案します。 自転車レーンのネットワーク構築により、自転車安全利用推進、利 便性の向上を図るとのことですので、区をまたぐ、自転車レーンの ルート開拓を速やかに進めていくことは、役に立つと思います。	自転車ネットワーク計画「ちばチャリ・すいすいプラン」により、路線のネットワーク構築を目指し、着実に整備を進めて参ります。	無
7	第5章 5-1-4 自転車走行環境 (P. 18)		自転車レーンと信号のある交差点についての通行の仕方がよくわ からない。	基本的には、自転車は軽車両であることから、車両用信号に従い通行することとなります。自転車走行環境整備を実施した交差点においては、矢羽根型路面表示を設置しておりますので、車両用信号に従い、矢羽根表示に沿って走行して下さい。自転車を降りれば、歩行者となるため、歩行者用信号に従い横断歩道を渡れます。ただし、自転車通行可の歩道(「自転車及び歩行者専用」の道路標識等がある歩道)で、横断歩道の横に自転車横断帯があり、歩行者・自転車専用信号がある場合は、その信号に従って、通行することとなります。なお、千葉市HP掲載の「ちばチャリーダー育成Book」(https://www.city.chiba.jp/kensetsu/doro/bicycle/documents/kyohon.pdf)のP10にも「交差点での通行方法」を記載しておりますので御覧下さい。	無
8			千葉市による、自転車レーンの走行評価キャラバンの実施を提案します。 千葉市では自転車走行環境の整備として自転車レーンの整備が進んでいますが、多くの自転車利用者は、自転車レーンの脇の歩道を走行しています。 地域活動を通じて、自転車レーンの利用について、住人の声を聴いてみると、「車が怖いから」車道は走れないとの声が多いです。そこで、自転車レーンの走行会を実施し、参加者の感想を聞くと「思ったより安全に走れた」という意見が増加しました。「これからは、自転車レーンを走行したい」という意見も多くなりました。これらの実績から、「自転車レーンの利用推進」には、実際に走ってみる機会を持ち、住民からのフィードバックを得ることが大変有意義と思っています。	自転車レーンを整備し、供用した際には、周辺の自治会や学校等に 走り方の周知等を行っておりますが、自転車レーンをより利用して いただくための取組については、頂いたご意見を参考に検討して参 ります。	無

No	計画(案)該当箇所		意見の概要	市の考え方	案の修正
	基本計画	実施計画	心元の似女	刊の考え方	条の修正
9	5-1-6 自転車の交通事故 等 (P. 20, 21, 参考-	第7章 「守」交通安全の確 保」 施策11 自転車安全利用の 促進(P. 43)	を記載する必要がある。(以下、大阪府警察の取りまとめ状況を参考に集計) ・自転車関連事故の全交通事故に占める割合の推移(過去10年) ・自転車相互・自転車と歩行者の事故発生状況の推移(過去10年) ・年齢別自転車関連事故死者数と構成率(過去5年) ・自転車指導啓発重点地区及び路線一覧表  千葉県公安委員会・千葉県警の理解を得て、千葉市と千葉県、千葉県警とで、定常的な事故発生状況の集計システムを構築し、事	自転車事故の現状については、第5章で取り扱っております。P20,21「5-1-6自転車の交通事故等」及び参考資料に以下を記載しておりますが、ご意見を踏まえ、現時点で整理されているデータについて追加します。 ・「自転車事故の全事故に占める割合の推移」はP20の図表26「本市における全事故件数と自転車事故件数の推移」になります。・「自転車相互・自転車と歩行者の事故発生状況の推移」は参考-12ページに「本市における自転車対歩行者の交通事故の推移」を掲載しておりますが、自転車相互や対車両等の分類別の推移に変更します。 ・年齢別の自転車事故件数を参考資料に追加します。なお、交通事故が多発している箇所については、警察と道路管理者等で現地調査を行い、順次対策を進めております。今後も、事故発生状況については、警察と適宜情報共有に努めます。また、自転車利用者が集中する駅周辺等の路線において、街頭啓発も実施することとし、「第7章 施策・計画内容」P43に追記します。	有

No	計画(案)	該当箇所	意見の概要	<b>キのネラナ</b>	案の修正
INO	基本計画	実施計画	息見の做安	市の考え方	条の修正
10	第7章 「守」交通安全 第5章 「テー1-6 自転車の交通事故 等 (P. 20, 21, 参考- 施策12		道交法遵守が、自転車利用者により広く無視され歩行者が危険に さらされている事実を認識いただく必要があります。事故数等に触 れられていますが、問題の本質まで目が届いていない印象です。 (無灯火、スマホのながら運転、横隊を組んでの走行等) 現実を調査し、警察、学校と連携しつつ安全教育や取り締まりを実 施すべき。	【事故等について】 自転車事故は一般的に違反行為が原因で起きているケースが多 く、ルールを守ることが第一であることから、ルール・マナーの周知・ 啓発に取り組んでおります。 なお、交通事故が多発している箇所については、警察と道路管理者 等で現地調査を行い、順次対策を進めております。 また、自転車利用者が集中する駅周辺等の路線において、街頭啓 発も実施することとし、「第7章 施策・計画内容」P43に追記します。	
11		「守」交通安全の確 保」	高校生の事故が多いが原因を分析しているのか、対策を考えているのかがきになりました。 対策として、特定の場所に通学時間帯の1時間程度、警察官にたってもらう。特定の区間に歩道を新設。自動車通勤者が多い事業所に働きかける。	【高校生への安全教育について】 各高等学校において、自転車の乗り方ルールやマナーについての 交通安全教育を実施しております。 なお、本市では、自転車走行環境整備に併せて、整備路線に近接 する各高等学校等に、自転車の走行ルールに関するの周知・啓発 を行っており、引き続き実施して参ります。	
12		直の交通事故 自転車安全利用の 促進 0,21,参考- 施策12 交通安全教育の推 進	高校生の自転車事故(本冊P21)への重点対策の展開 ・市立高校のみならず市内高校に通学する高校生を対象とした自 転車利用時の事故防止、マナー向上啓蒙活動の展開 ・自転車保険加入義務化(本年4月より)に同期した自転車通学者 全員加入制度の展開(校則化と助成金など) ・市内大学、市内専門学校への展開(後続活動)	【高校生等への自転車保険加入への取組】 市内の高校への自転車保険等の加入促進については、市教育委員会や県教育委員会、私立学校を通して、生徒・保護者に保険等の必要性・加入について周知しております。 なお、市立及び県立高校の多くは「全国高P連賠償責任補償制度」 に加入しており、自転車事故における賠償もカバーされている状況です。 大学や専門学校への周知・啓発についても働きかけてまいります。	有
13			ソフト面の安全対策としては交通安全教育の充実が挙げられます。ただこの件の記載は少なく(P31、32、43、44)、内容的にも年一のマナーアップキャンペーン、保険加入周知、学校教育と抽象的事項の羅列のみ。若年層、特に高校生の事故率は高い(P20,21)とあるにもかかわらず県立・私立高校生に対する交通安全教育についての記載が全く見られません。自転車条例には、市民等への教育(第11条)、千葉市内に存在する学校の責務(第17条)の規定があるのですから、努力義務であってももう少し踏み込んだ具体的策を考えた方がよいように感じました。	【「計画事業:自転車マナーアップキャンペーン」について】 P43「施策11 自転車安全利用の促進」の計画事業に「自転車マナーアップキャンペーン」と記載しておりますが、ルールやマナーに関する周知・啓発等は各種の取組により実施しており、「キャンペーン」という表現が一過性のものに捉えられるため、「自転車のルール・マナー啓発」に変更します。また、事業内容に「自転車安全利用講習会等の実施、自転車走行環境整備に合わせた啓発の実施、街頭での啓発活動」を追加します。	

No	計画(案)	該当箇所	意見の概要	市の考え方	案の修正
INO	基本計画	実施計画	息兄の似安	川の考え方	柔の修正
14		第7章 「守」交通安全の確 保」 施策11	通学には、周辺住民とのマナートラブル、の課題がありこれについて解決を目指すことができます。また、交通事故に対しては、直接指導することができるし、自ら解決する機会も得られます。	においては、難しい状況と考えております。	4111
15		施策12 交通安全教育の推 進 (P. 43, 44)	交通安全教育に努めること。 自転車による事故を低下させるには有効であるが、本計画には、その記述がすくない。 世代に区分した教育プログラムを構成し、社会的なレベルアップに努力すること。 義務教育に自転車交通安全教育プログラムを取り入れるよう、関係部門と協議すること。 幼児でも自転車を乗り回している現状から、幼稚園・保育園で交通安全に関する知識を取り入れる機会を設けることも有用ではないか?	教室を実施しています。また、市立中学・高校では、事故の事例を	
16		と利用促進 施策1	市民活動に対する補助金の用途について 補助金を受ける活動団体には、補助金の使い道に制限があること で、活動内容に制限ができてしまっていることもあるかと思います。 安全利用イベントでは、座学になることが多く、効果的なツールとし て、スライドの上映、動画の上映が欠かせないものとなってきてい ます。補助金をプロジェクター購入など、に充てられるようにしてい ただけると大変助かります。	補助対象経費は、補助対象事業に係る経費のみが対象となります。このため、補助対象事業以外にも使用できる備品等の購入費は対象外となります。なお、補助対象事業で使用される備品等の賃貸借費用については、対象となります。	無

No	計画(案)	該当箇所	意見の概要	市の考え方	案の修正
INO	基本計画	実施計画	忘元の1995年	印の考えが	条の修正
17	/	と利用促進 施策3	里山サイクリングマップについて 若葉区泉地域コミュニティバスルートマップ+里山ウォーキングマップを作成して、里山サイクリングマップとの併用マップを作成してほしい。	里山サイクリングマップは、概ね3年で更新しており、現マップについては市民ニーズを踏まえるとともに、ルートのわかりやすさや携帯の手軽さなどに留意しながら、H31.3月にリニューアルしたものとなっています。 現在のマップを活用していく中でのご意見やニーズ等を含め、今後のマップ作成において参考とさせていただきたいと考えております。なお、コミュニティバスルートマップは、バスルートのわかりやすさ等の観点から、他のマップとの併用は難しく、現マップの構成としております。	無
18		第7章 「楽」自転車の活用 と利用促進 施策4 環境負荷の低減 (P. 38)	自転車利用による過度な自動車利用の抑制を図る方法の具体的 提示をしてください。 千葉市としてはどのような自転車通勤の推進をするのか、具体的 に示した方が役に立つと思います。 また、自転車利用がどのようなことで進み、どのように自動車利用 が抑制されると考えているのか、因果関係がはっきり理解できるように、詳しい説明をお願いします。	環境にやさしいライフスタイルへの転換を促すCOOL CHOICEを推進しており、過度な自動車利用の抑制を図るべく、普及啓発を実施しております。 自転車は近距離の移動に便利で、移動距離が約5kmまでは入出庫に時間がかからないことから、自動車よりも早く目的地に着くとことが示されています(P6, 参-1に記載)。このことから、特に近距離移動の自動車から自転車への転換を促していきたいと考えております。 また、自転車通勤を推進していくため、導入による事業所のメリット等(駐車場維持等にかかる固定費の削減等)を広く周知していく必要があると考えており、頂いたご意見については、今後の周知・啓発の参考とさせていただきます。	
19		第7章 「守」交通安全の確 保」 施策11 自転車安 全利用の促進 (P. 43)	千葉市独自に75歳未満で自動車免許を返納した場合、自転車の 購入費用を補助する等があってもよいと思いました。	運転免許の自主返納支援として、現在、千葉県個人タクシー協会及び警察と協定を締結し、加盟する個人タクシーを利用した際に、運賃が1割引きとなっております。 頂いたご意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	無

<sup>※</sup>このほか、千葉市内で開催された自転車関連イベントに関するご感想がありました。主催者に伝えさせていただきまます。

<sup>※</sup>また、誤字に対するご意見は、修正対応させていただきます。